

平成 2 2 年度

教育委員会 の 点検・評価
報 告 書

平成 2 3 年 8 月

あま市教育委員会

— 目 次 —

1. はじめに
2. 教育委員会会議の開催状況
3. 教育委員会会議の審議状況
4. 教育委員の活動状況
5. 主な事業の取組状況

(1) 学校教育課

- 教職補助員配置事業
- 英語教育の推進
- 適応指導教室事業
- 小中学校適正規模検討委員会
- 特別支援学級補助員配置事業
- 学校 ICT 支援員配置事業
- 学校生活安全員配置事業
- 親と子の相談事業
- 人権教育（人権教育研究会）
- 小中学校施設整備事業
- 学校教育事業

(2) 生涯学習課

- 社会教育事業
- 公民館事業
- 成人式事業
- 家庭教育推進事業
- 青少年健全育成推進事業
- 人権教育推進事業
- 文化振興事業
- 歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業
- 社会教育施設整備事業
- スポーツ教室
- スポーツ行事・大会
- 社会体育施設整備事業
- 文化会館自主事業
- 図書館事業

(3) 学校給食センター

- 学校給食事業

6. 学識経験者による意見

1. はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部を改正する法律が、平成20年4月1日に施行され全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

あま市教育委員会では、効果的かつ効率的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、「教育委員会点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

2. 教育委員会会議の開催状況

平成22年度は定例会議を12回、臨時会議を1回開催しました。

(1) あま市教育委員会委員（平成23年3月31日現在）

職 名	氏 名	任 期
委員長	にのみや てつや 二ノ宮 鉄弥	平成22年3月22日から平成22年6月24日 平成22年6月25日から平成25年6月24日
委員長職務代理者	やまだ けんたろう 山田 健太郎	平成22年3月22日から平成22年6月24日 平成22年6月25日から平成23年6月24日
委 員	おがさわら えいし 小笠原 英司	平成22年3月22日から平成22年6月24日 平成22年6月25日から平成24年6月24日
委 員	なんや えみこ 南谷 恵美子	平成22年3月22日から平成22年6月24日 平成22年6月25日から平成26年6月24日
教育長	みずの よしみ 水野 良美	平成22年3月22日から平成22年6月24日 平成22年6月25日から平成26年6月24日

(2) 教育委員会会議等

開 催 日	開 始 時 間	
平成22年 4月 1日	午後 2時45分	教育委員会第1回定例会
5月11日	午前10時15分	教育委員会第1回臨時会
5月19日	午後 2時00分	教育委員会第2回定例会
6月25日	午前10時00分	教育委員会第3回定例会
7月14日	午後 2時00分	教育委員会第4回定例会
8月17日	午後 2時00分	教育委員会第5回定例会
9月21日	午後 2時00分	教育委員会第6回定例会
10月12日	午後 2時00分	教育委員会第7回定例会

1 1 月 1 6 日	午後 2 時 0 0 分	教育委員会第 8 回定例会
1 2 月 2 1 日	午後 4 時 0 0 分	教育委員会第 9 回定例会
平成 2 3 年 1 月 1 8 日	午後 3 時 0 0 分	教育委員会第 1 0 回定例会
2 月 1 4 日	午後 2 時 0 0 分	教育委員会第 1 1 回定例会
3 月 1 4 日	午後 4 時 0 0 分	教育委員会第 1 2 回定例会

3. 教育委員会会議の審議状況

年間 1 2 回の定例会では「就学援助費の受給審査」、「区域外就学、指定校変更」、「教科用図書の採択」などについての議案が協議され、活発な議論がなされました。

さらに、後援依頼が発議され審査基準等に従い十分検討し、6 9 件の後援が決定されました。

4. 教育委員の活動状況

教育委員の活動状況は下記のとおりであり、小中学校の行事に積極的に参加し、実態の把握に努めました。

開催月	開催日	事業名	場所	出席委員
4 月	1 日	教職員辞令交付式	本庁舎	教育委員(全員)
	1 日	教育委員会・校長会合同会議	本庁舎	教育委員(全員)
	6 日	小学校入学式	各小学校	教育委員(全員)
	7 日	適応指導教室指導員辞令交付	本庁舎	教育長
	7 日	中学校入学式	各中学校	教育委員(全員)
	7 日	第 1 回体育指導委員会	美和公民館	教育長
	1 3 日	海部地方事務協議会	海部総合庁舎	委員長・教育長
	1 5 日	市内校長会	あま市役所	教育長
	2 2 . 2 3 日	東海北陸都市教育長会	恵那文化センター	教育長
	2 7 日	第 1 回尾張部都市教育長会	清須市	教育長
5 月	1 0 日	学校訪問	秋竹小学校	委員長・教育長
	1 0 日	学校評議員会	美和中学校	教育長
	1 1 日	学校評議員会	甚目寺東小学校	教育長
	1 3 日	学校評議員会	正則小学校	教育長
	1 3 日	学校評議員会	伊福小学校	教育長
	1 4 日	市内校長会	本庁舎	教育長

	18日	文化財保護審議会	美和資料館	教育長
	19日	教科用図書採択海部地区協議会	海部総合庁舎	教育長
	20日	学校訪問	伊福小学校	委員長・教育長
	21日	私学をよくする父母懇談会陳情	本庁舎	教育長
	22日	蜂須賀小六正勝公顕彰会	蜂須賀公民館	教育長
	24日	学校訪問	宝小学校	委員長・教育長
	24日	学校評議員会	甚目寺南中学校	教育長
	26日	社会教育審議会	美和公民館	教育長
	27日	教職員総会	甚目寺公民館	委員長・教育長
	28日	学校評議員会	甚目寺西小学校	教育長
	29日	運動会	甚目寺南小学校	教育長
	29日	運動会	甚目寺東小学校	教育長
	31日	学校訪問	甚目寺小学校	委員長・教育長・委員
6月	1日	人権ふれあいセンター運営審議会	人権ふれあいセンター	市長・教育長
	1日	甚目寺老人福祉センター運営委員会	甚目寺老人福祉センター	市長・教育長
	4日	学校評議員会	宝小学校	教育長
	7日	学校評議員会	甚目寺中学校	教育長
	9日	学校評議員会	七宝小学校	委員長
	11日	県人権教育研究会総会	名古屋市教育センター分館	教育長
	14日	学校訪問	甚目寺南小学校	委員長・委員
	15日	学校訪問	美和東小学校	委員長・委員
	17日	学校訪問	七宝中学校	委員長・教育長
	20日	文化協会第1回総会	甚目寺会館	市長・教育長
	21日	学校訪問	美和小学校	委員長・教育長・委員
	21日	学校評議員会	秋竹小学校	教育長
	25日	海部地方事務協議会	海部総合庁舎	教育長
	28日	学校訪問	篠田小学校	委員長・教育長・委員
	29日	給食センター運営委員会	美和公民館	市長・委員長・教育長
	30日	民生委員推薦会	甚目寺総合福祉会館	委員長・教育長
7月	2日	学校評議員会	甚目寺南小学校	教育長
	3日	体育協会総会	美和公民館	教育長
	6日	尾張部都市教育長会	弥富市	教育長

	7 日	教科用図書採択海部地区協議会	津島市	教育長
	9 日	愛知縣市町村教育委員会連合会総会	津島市	教育委員（全員）
	11 日	福島正則公顕彰会	正則コミュニティ センター	教育長
	13 日	市内校長会	本庁舎	教育長
	13 日	ハンセン病講演会	人権ふれあいセンター	教育委員(全員)
	15 日	学校評議員会	篠田小学校	教育長
	24 日	青少年キャンプ開村式	文化の杜	教育長
	25 日	市民ラジオ体操の集い	七宝アートヴィレッジ	委員長・教育長
	27 日	スポーツ少年団設立総会	七宝総合体育館	教育長
	30 日	あま市女性の会設立総会	甚目寺公民館	市長・教育長
8 月	1 日	平和祈念式典	甚目寺公民館	教育委員(全員)
	6 日	海部地区人権教育講演会	甚目寺公民館	教育委員(全員)
	9 日	あま市子ども議会	甚目寺庁舎	教育長
	9 日	幼稚園・保育園・小学校連絡協議会	本庁舎	教育長
	18 日	民生委員推薦会	甚目寺総合福祉会館	委員長・教育長
	26 日	私学をよくする父母の会陳情	本庁舎	教育長
9 月	1 日	新任・転任教職員研修会	人権ふれあいセンター	教育長
	10 日	市内校長会	本庁舎	教育長
	16 日	中学校文化祭	七宝中・七宝北中	教育長
	17 日	中学校体育祭	各中学校	教育委員（全員）
	18 日	新規採用職員面接試験	本庁舎	教育長
	18 日	小学校運動会	伊福小学校	教育長
	25 日	小学校運動会	各小学校	教育委員（全員）
	28 日	人権施策推進本部研修会	本庁舎	教育長
	30 日	海部東部教育委員連絡協議会	大治町役場	教育委員(全員)
10 月	1 日	青少年健全育成推進協議会	美和公民館	教育長
	4 日	学校訪問	七宝北中学校	委員長・教育長・委員
	6 日	尾張部都市教育長会	北名古屋市	教育長
	13 日	海部地区家庭教育推進協議会	海部総合庁舎	教育長
	14 日	学校訪問	甚目寺西小学校	委員長・教育長・委員
	15 日	市内校長会	篠田防災コミュニティ	教育長
	18 日	学校訪問	美和中学校	委員長・教育長・委員

	19日	海部地方教育事務協議会	海部総合庁舎	委員長・教育長
	23日	安全安心大会	美和文化会館	教育委員(全員)
	25日	学校訪問	甚目寺南中学校	委員長・教育長・委員
	27日	人権の花運動	甚目寺小学校	市長・教育長
11月	1日	学校訪問	正則小学校	委員長・教育長・委員
	4日	学校訪問	甚目寺東小学校	委員長・教育長・委員
	6・7日	文化祭	甚目寺・七宝公民館、美和文化会館	委員長・教育長
	8日	学校訪問	七宝小学校	委員長・教育長・委員
	9日	市内校長会	本庁舎	教育長
	12日	小中一貫校研究協議会	飛島学園	教育長
	13日	学習発表会	甚目寺東小学校	教育長
	14日	学習発表会	美和東小学校	教育長
	17日	就学指導委員会	美和公民館	委員長・教育長
	18・19日	校長人事面談	七宝庁舎	委員長・教育長
	22日	尾張部都市教育長会	東海市	教育長
	26日	小中学校適正規模検討委員会	七宝庁舎	委員長・教育長
	27日	海部地区子育て支援・地域交流会	飛島村	教育長
	28日	第4回ふれあい祭り	人権ふれあいセンター	委員長・教育長
	30日	海部地方事務協議会	海部総合庁舎	委員長・教育長
12月	4日	市町村対抗駅伝大会	万博記念公園	教育長
	15日	市内校長会	美和公民館	教育長
	16日	人事面談第1次	海部総合庁舎	委員長・教育長
1月	4日	新年賀詞交歓会	本庁舎	委員長・教育長
	9日	成人式	甚目寺公民館	教育委員(全員)
	13日	市内校長会	本庁舎	教育長
	16日	ボーイスカウト初出式	甚目寺公民館	市長・教育長
	20・21日	海部地方教育長会視察研修	大阪府箕面市	教育長
	23日	ものしり検定実行委員会	美和歴史資料館	教育長
	28日	小中学校適正規模検討委員会	本庁舎	教育長
2月	3日	尾張部都市教育長会	知多市	教育長
	6日	市民走ろう・歩こう会	鷹居グラウンド	市長・教育長

	7 日	第 2 次人事面談	海部総合庁舎	委員長・教育長
	1 3 日	第 1 回ふれあい芸能祭	美和文化会館	教育長
	1 7 日	海部地区家庭教育推進運営協議会	海部総合庁舎	教育長
	2 1 日	海部地方事務協議会	海部総合庁舎	教育長
	2 2 日	社会教育審議会	美和公民館	教育長
	2 3 日	学校給食センター運営委員会	美和公民館	委員長・教育長
	2 7 日	ものしり検定	美和文化会館・七宝アートビレッジ	教育長
3 月	5 日	あま市体育協会総合開会式	美和文化会館	市長・委員長・教育長
	8 日	中学校卒業式	各中学校	教育委員(全員)
	8 日	第 3 次人事面談	海部総合庁舎	委員長・教育長
	1 2 日	スポーツ少年団本部卒団式	七宝公民館	教育長
	1 3 日	市民綱引き大会	甚目寺公民館	市長・教育長
	1 4 日	海部地方教育事務協議会	海部総合庁舎	委員長・教育長
	1 6 日	市内校長会	美和公民館	教育長
	1 7 日	海部東部教育委員連絡協議会視察研修	飛島村・愛西市	教育委員(全員)
	1 8 日	小学校卒業式	各小学校	教育委員(全員)
	2 3 日	小中学校適正規模検討委員会	本庁舎	教育長
	2 7 日	ものしり検定実行委員会	美和歴史資料館	教育長
	3 1 日	退職教職員辞令交付式	本庁舎	教育長

5. 主な事業の取組状況

(1) 学校教育課

■教職補助員配置事業

児童生徒の基礎学力の充実を目指し、T T(チーム・ティーチング)指導を始めとする少人数指導による学習支援を行うため、小中学校へ市雇用の非常勤講師を配置しました。

また、障がいのある児童に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援等を充実させるため、小学校へ特別支援教育支援員を配置しました。

- ・教職補助員 3 2 人
- ・特別支援教育支援員 2 6 人(緊急雇用創出事業 6 人含む)

※きめ細かい少人数指導が実施でき、それにより、個に応じた指導を進めることができました。また、ＴＴの授業を行うことで基礎学力の充実に寄与しました。

（ＴＴ：担当の教師が進める授業に、教師と教職補助員がチームを組み、生徒の習熟度に合わせて教師を助力しつつ行う授業の形態のこと。）

■英語教育の推進

児童生徒の外国語活動と国際理解教育の推進を図るため、邦人と外国人の非常勤講師を英語指導助手（ＡＬＴ）として各小中学校に配置し、次の内容を実施しました。

- （１）中学校の英語科授業における英語指導
- （２）小学校の英語活動における英語指導
- （３）授業で使用する教材の作成
- （４）教員に対する現職研修
- （５）授業外の特別活動や課外活動など学校行事への参加
- （６）研修やミーティングへの参加

- ・ 小学校：英語指導助手 ７人（アメリカ合衆国、カナダ、日本）
- ・ 中学校：英語指導助手 ５人（アメリカ合衆国、カナダ）

また、市内外国語部会を年間２回開催し、各学校の外国語活動の取組について情報交換を行いました。夏休みには、教員のための「市内外国語研修」を開催し、指導法の研修を行いました。

※各小学校では、ＡＬＴとのＴＴ指導による外国語活動を円滑に実施することができました。これにより、生きた英語に触れることはもとより、児童の外国語への意欲・関心を高めることができました。また、各中学校でも、ＡＬＴと英語教師によるＴＴ指導を行い、生きた英語が響く教室で、生徒は積極的に会話を交わすことができるようになりました。

夏休みの教員を対象とした市内外国語研修では、先進的に取り組んでいる学校に、実際の授業の様子を紹介してもらったり、模擬授業を体験したりすることで、外国語指導の不安の解消をすることができました。

平成２３年度からは、５・６年生において、外国語活動の実施が義務付けられていることから、より高い指導力の教育体制づくりを目指していきます。

■適応指導教室事業

心理的・情緒的な要因により、不登校の状態にある児童生徒を対象として、適正な相談・助言及び生活指導・学習指導を行い、自立及び学校生活への自発的復帰を支援しました。

- ・専任指導員 1人 ・心理相談員 1人 ・補助員 3人
- ・平成22年度適応指導教室の登録者数 14人

※児童生徒に対し適正な指導等の実施、臨床心理士の専門員により心理支援相談及び保護者に対しての面接相談を実施したことにより、適応指導教室の成果がありました。今後は、さらに自立及び学校生活への自発的復帰ができるように努めていきます。

■小中学校適正規模等検討委員会

あま市立小中学校適正規模等検討委員会を置き、学校教育環境の整備を図るため、小中学校の適正な配置及び規模について検討しました。

- ・検討委員会委員 15名
- ・事業内容

第1回	平成22年11月26日	議題：①検討会の趣旨と目的 ②小中学校の現状 ③今後の進行
第2回	平成23年1月28日	議題：①適正配置及び規模の適正化の必要性 ②アンケート
第3回	平成23年3月23日	議題：①適正な学校規模の基本的な考え方

※あま市教育委員会へ提出する提言書のための具体的な方策を検討し、多くの意見が出されました。

■特別支援学級補助員配置事業

緊急雇用創出事業により、介助の必要がある児童の自立に向け、美和小学校、正則小学校へ特別支援補助員、七宝小学校、宝小学校、秋竹小学校、篠田小学校に学習支援員を配置し、個々の特性と教育的ニーズに対応した支援を行いました。

- ・特別支援補助員 6人

※通常学級や特別支援学級に在籍する介助が必要な児童に対しても、安定した学校生活が送れるように、適切な指導や支援を行うことができました。

■学校ICT支援員配置事業

緊急雇用創出事業により、美和小学校、正則小学校、篠田小学校、美和東小学校、美和中学校を対象に、教員のICT基礎的知識と指導力の向上を目指して、技術的支援を行いました。

- ・ICT支援員 1人

※教職員のＩＣＴに関する基礎知識が向上し、教育的ニーズに合ったコンピュータ環境を整えることができました。

■学校生活安全員配置事業

緊急雇用創出事業により、美和小学校、正則小学校、篠田小学校、美和東小学校、美和中学校に、警備員を１名ずつ配置し、学校内外の巡視や危険箇所の整備等を行い、児童生徒の安全管理を行いました。

・学校生活安全員 5人

※来校者の確認及び校内の巡視により危険箇所を整備し、事故等を未然に防ぐことができた。また、登下校の際は、校外で安全巡視を行い、交通事故防止に効果がありました。

■親と子の相談事業

ふるさと雇用再生事業により、美和小学校、正則小学校、篠田小学校、美和東小学校に、相談員を配置(各学校週１日)し、児童、保護者及び学校関係者の相談事業を行いました。

・相談員 1人

※児童が教師に言いだせない友達や家族のことなどの悩みを相談することができました。また、教師も通常学級に障害を抱える児童などについて、気軽に相談することができました。

■人権教育（人権教育研究会）

あま市小中学校人権教育研究会は平成２２年度の研究主題を「人権尊重の確かな認識を培い、温かい人間関係を育む教育」として研究を進め、「自己実現を追求する活動を通して、人権尊重の教育」を推進しました。

・研究会の組織

会 長	甚目寺南小学校長	幹 事	指導主事２名 甚目寺東小学校教務主任 甚目寺中学校教務主任
副 会 長	甚目寺東小学校長 甚目寺小学校長 七宝中学校長 正則小学校長	推進委員	各小中学校教員 15人
庶 務	甚目寺南小学校教頭	会 員	各小中学校教職員 454人

※児童生徒が実践的行動力を身に付けるための研究を進めた結果、様々な活動を通

じて、より良い人間関係の中で、互いの良さを認め合い、互いの存在の大切さにも気付けるようになりました。また、取り組みの継続によって実践的な行動力も着実に育まれてきました。

■小中学校施設整備事業

安全・安心で快適な教育環境を整えるために次の整備工事を行いました。

○七宝小学校屋上防水工事

校舎の老朽化に伴い、屋上防水シートが劣化し教室内に雨漏りが発生しました。児童の授業に支障をきたすことはもとより建物の腐食の進行を防ぐために屋上の防水改修を実施し、施設整備に努めました。

事業内容 七宝小学校北棟屋上防水等

事業費 10,069,500円

※この改修工事を実施したことにより、雨漏りの改善ができ、施設の耐久性を向上することができました。

○宝・伊福小学校プール改修工事

プールの塗装が経年劣化し防水効果が低下しているため、防水塗装を実施することにより施設整備に努めました。

事業内容 宝小学校プール塗装及び温水シャワー設置等

事業費 13,335,000円

事業内容 伊福小学校プール塗装及び温水シャワー設置等

事業費 14,238,000円

※この改修工事を実施したことにより、防水効果が改善でき、施設の耐久性を向上することができました。

○篠田小学校エレベーター改修工事（小学校整備工事）

設置後30年以上が経過する給食用昇降機は、部品の消耗劣化が進んでいるため誤作動もあり、事故が発生する前に改修することにより施設整備に努めました。

事業内容 給食用昇降機改修

事業費 9,345,000円

小学校整備工事は地域活性化・きめ細かな臨時交付金の対象事業です。この交付金は、平成21年12月8日に閣議決定された「明日の安心と成長のための緊急経済対策」において、「電線の地中化、都市部の緑化など地方公共団体によりきめ細かなインフラ整備等を支援する。」とされたことを踏まえて創設されまし

た。平成 21 年度に事業決定し、平成 22 年度に整備しました。

※この改修工事を実施したことにより、安全・安心な学校にすることができました。

■学校教育事業

○あいち・出会いと体験の道場推進事業

愛知県の委託事業として、大人へと心身ともに大きく成長する思春期に、社会の成り立ちについての理解や、働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなど、社会性をしっかりと身につけてもらうため全中学校の 2 年生を対象に実施しました。

- ・ 県委託金 672,000 円 (28,000 円/1 学級)
- ・ 実施内容

学 校 名	参加生徒数	実 施 日	受 入 事業所数
七宝中学校	156 人	10 月 25・28・29 日	55
七宝北中学校	69 人	6 月 29 日～ 7 月 1 日	4
美和中学校	209 人	11 月 9 日～11 月 11 日	47
甚目寺中学校	209 人	10 月 20 日～10 月 22 日	50
甚目寺南中学校	165 人	11 月 9 日～11 月 11 日	33

※自立心と社会性が身につく、社会のマナーやルール、あいさつや言葉づかいの大切さなど社会性を学ぶことができました。また、今後の進路について、仕事の適性等将来を見据えた考えを持つことができました。

○理科支援員等配置事業

愛知県の委託事業として、支援員を配置し、教員が協力して授業を行うことにより、理科の授業の充実・活性化を図るとともに、教員の観察・実験等体験的学習に関する指導力向上を図りました。

県委託金：700,000 円

実 施 校：甚目寺東小学校

実施学年：5、6 年生

支 援 員：社会人 1 人、大学生 6 人

※実験の準備や予備実験、教材研究などが十分にでき、児童の不安や分からないところを素早く支援できました。また、授業を計画的に進行でき、担任は授業に取り組み易くなるとともに、高学年の授業がより充実しました。

○世代間交流交通安全活動推進事業

愛知県の委託事業として、小学校と地域が協働で、子どもと高齢者が地域住民の世代の垣根を越えた交流を通じて、高齢者の交通安全啓発活動に取り組む事業を実施しました。

県委託金：150,000円

実施校：正則小学校

事業内容：「交通安全をテーマにした演奏会」開催（あま恵寿荘）

「交通安全〇×クイズ」実施（運動会）

「交通安全教室・交通安全感謝する会」開催

「交通安全メッセージカード」「正則小学校区安全マップ」制作

※児童の交通安全に対する意識が確実に向上し、高齢者にも交通安全についてアピールでき、今後の交通事故防止に極めて有効でありました。

○授業の心と技術向上推進事業

学習指導要領の趣旨を生かし、身近な家族や学校・地域社会など様々な他者とのつながりや体験活動を通して、児童生徒の人間関係を築く力や社会性を育み、道德教育の一層の拡充を目指しました。

県委託金：430,000円

実施校：甚目寺南中学校

実施学年：全教職員

事業内容：5月31日、7月27日

校内研修：「生徒の心にとどく道德教育を願って」

名古屋芸術大学教授 三浦浩子

8月23日

校内研修：「教師力向上のために」

元蟹江北中学校校長 加藤利彦

12月20日

校内研修：「科楽へのいざない」

愛知淑徳大学教授 佐藤成哉

※教員生活で培ってきた授業に対する心や技を次の世代に引き継いでいくことにより、現職教員の授業力向上への意欲を高めることができました。また、指導・支援の在り方を考える機会になったと同時に子どもたちの学習意欲を高めることができました。

○授業力向上支援事業

市の単独事業として、市内小中学校(他の事業と重複したため甚目寺東小学校、甚目寺南中学校を除く)の教員に対して、各教科における育みたい資質や能力を客観的に見取るための評価方法を研究し、授業力の向上を図りました。

また、新学習指導要領に向けて指導計画や評価基準の研究をし、新学習指導要領に対応するための指導力を培うことをねらいとして研修等を実施しました。

※研究・研修により、教員としての意欲が増し、授業や特別活動などの指導力も向上しました。

(2) 生涯学習課

■社会教育事業

○社会教育事業

下記のとおり市民大学講座を開催し、多くの参加を得ました。

七宝公民館

講 座 名	対象	回数	受付け者数		延受講者数		備考
			組	人数	組	人数	
市民大学講座	一般	6回	—	22名	—	94名	

美和公民館

講 座 名	対象	回数	受付け者数		延受講者数		備考
			組	人数	組	人数	
市民大学講座	一般	6回	—	20名	—	92名	

※市民大学講座を通じて、幅広い知識を学ぶことができました。また、市民と市民の繋がりを深めることができました。

■公民館事業

住民の学習ニーズにあった学習の場を提供し、個人や地域の問題解決のきっかけ作りとしました。

○親子ふれあい講座

下記のとおり小学生の親子対象の講座を開催し、多くの参加を得ました。

七宝公民館

講 座 名	対象	回数	受付け者数		延受講者数		備考
			組	人数	組	人数	
親子ヨガ①	親子	1回	5組	13名	5組	13名	
親子ヨガ②	親子	1回	7組	18名	7組	18名	

記
の

親子ヨガ③	親子	1 回	2 組	6 名	2 組	6 名	
親子パン作り①	親子	1 回	12 組	24 名	12 組	24 名	
親子パン作り②	親子	1 回	8 組	16 名	8 組	16 名	
親子パン作り③	親子	1 回	10 組	20 名	10 組	20 名	
親子お菓子作り①	親子	1 回	13 組	27 名	13 組	27 名	
親子お菓子作り②	親子	1 回	18 組	36 名	18 組	36 名	
親子お菓子作り③	親子	1 回	8 組	16 名	8 組	16 名	

とおり各種講座等を開催し、多くの参加を得ました。

七宝公民館

講 座 名	対象	回数	受付け者数		延受講者数		備考
			組	人数	組	人数	
健康づくり	一般	5 回	—	18 名	—	76 名	
パン作り教室	一般	5 回	—	36 名	—	172 名	
カリグラフィー教室	一般	5 回	—	23 名	—	107 名	
マクロビオティック料理	一般	5 回	—	27 名	—	112 名	
海部地域の史跡巡り	一般	7 回	—	20 名	—	124 名	
クリスマスケーキ作り	一般	1 回	—	45 名	—	45 名	
パソコン講座初級 A	一般	6 回	—	7 名	—	36 名	
パソコン講座初級 B	一般	6 回	—	10 名	—	60 名	
パソコン講座ワード初級	一般	6 回	—	14 名	—	81 名	
パソコン講座エクセル初級	一般	6 回	—	15 名	—	73 名	
パソコン講座エクセル中級	一般	10 回	—	11 名	—	96 名	
英会話初級講座①	一般	1 回	—	7 名	—	7 名	
英会話初級講座②	一般	1 回	—	14 名	—	14 名	
英会話初級講座③	一般	1 回	—	7 名	—	7 名	

美和公民館

講 座 名	対象	回数	受付け者数		延受講者数		備考
			組	人数	組	人数	
マクロビオティック料理	一般	5 回	—	23 名	—	96 名	
ベリーダンス	一般	5 回	—	30 名	—	123 名	
3 種類のおはぎ作り	一般	1 回	—	24 名	—	22 名	
パン作り教室（託児付）	一般	5 回	—	30 名	—	132 名	
リラックスヨガ	一般	5 回	—	30 名	—	114 名	
いちご大福と桜餅作り	一般	1 回	—	24 名	—	23 名	
少年少女発明クラブ	一般	1 回	—	10 名	—	10 名	

甚目寺公民館

講 座 名	対象	回数	受付け者数		延受講者数		備考
			組	人数	組	人数	
陶芸教室	一般	5 回	—	16 名	—	78 名	
ゆかた着付け教室	女性	1 回	—	15 名	—	14 名	
夏休み子ども理科教室	児童	1 回	—	8 名	—	8 名	
着物の着付けとマナー （託児付）	女性	5 回	—	20 名	—	75 名	
もっとおいしく！冬野菜 （託児付）	一般	3 回	—	15 名	—	42 名	
説教源氏節人形芝居講座	一般	8 回	—	6 名	—	40 名	
パソコン入門（午前）	一般	3 回	—	18 名	—	54 名	
パソコン入門（夜間）	一般	3 回	—	7 名	—	21 名	
エクセル入門（午前）	一般	3 回	—	18 名	—	47 名	
エクセル入門（夜間）	一般	3 回	—	10 名	—	30 名	

○公演・イベント・図書室事業

下記のとおり親子対象の事業を実施し、親子の触れ合いの場を提供しました。

事 業 名	事業内容	開催日時	会 場	入場者 受講者
-------	------	------	-----	------------

親子ふれあい 映画会	七宝 「アリス・イン・ ワンダーランド」 上映	平成 22 年 10 月 16 日 (土) 午後 2 時～	七宝公民館 講堂	約 95 名
	甚目寺 アニメ映画 「ATOM」 上映	平成 22 年 11 月 27 日 (土) 午前 10 時 30 分～正午	甚目寺公民 館大ホール	約 100 名
親子人形劇 観劇会	人形劇団 「むすび座」 公演	平成 23 年 2 月 19 日 (土) 午前 11 時～	甚目寺公民 館講義室	約 100 名
図書室事業	読み聞かせ	毎週土曜日 (第 2 除く) 39 回/年 午後 2 時～午後 2 時 30 分	図書室	164 名
	紙芝居	第 2 土曜日 12 回/年 午後 2 時～午後 2 時 30 分	図書室	54 名

○パソコン相談室

甚目寺公民館

パソコン講習のフォローアップ及びパソコンに関する質問への回答など、パソコンをより身近な道具として、操作に慣れていただくよう実施しました。

実施回数 24 回

五条高等学校パソコン部委託分 12 回

甚目寺パソコンクラブ委託分 12 回

七宝公民館

パソコン講習のフォローアップ及びパソコンに関する質問への回答など、パソコンをより身近な道具として、操作に慣れていただくよう実施しました。

現在旧七宝地区の住民の方 3 名のボランティアのご協力により実施しています。

実施回数 24 回

※講座を通じて、自分の趣味の充実を図り、仲間作りができました。また親子対象の事業では、親子で参加することで、親子のふれあいを深めることができました。

■成人式事業

成人の日を迎えたことをお祝いし、これから一層成長されることを願って、市と教育委員会の共催により実施しました。

- ・日時及び場所：平成 23 年 1 月 9 日 (日) < 第 2 日曜日 >
午前 10 時～午前 11 時、甚目寺公民館 大ホール
- ・行 事 の 内 容：式典
- ・記 念 品：七宝焼きストラップ
- ・新 成 人：平成 2 年 4 月 2 日～平成 3 年 4 月 1 日生れ
- ・対 象 者：市内 778 人 (男性 405 人、女性 373 人)
市外参加希望者 59 人 (男性 30 人、女性 29 人)
- ・参 加 者：613 人 (男性 305 人、女性 308 人) < 参加率 73.2% >

※市外参加希望者を含む

※あま市として初めての成人式でしたが、新成人の代表者により、受付、司会等を行い、感動的な式典となりました。

■家庭教育推進事業

都市化、核家族化が進み、母親達が身近な子育てモデルもなく育児不安やストレスを抱えています。幼児期家庭教育講座を開催し、母親のリフレッシュをはかるとともに、子育てについての知識を広げ、よりよい子育て・育児等になるように実施しました。

○幼児期家庭教育講座

- ・新ママ&パパ&ベビーの地域デビュー（3地区/各4回）

【対象】親子

【時間】午前10時30分～正午

【講師】ミルキーねっとメンバー

七宝地区 ①6/3 ②6/10 ③6/17 ④6/24

美和地区 ①11/4 ②11/11 ③11/18 ④11/25

甚目寺地区 ①9/15 ②9/22 ③9/29 ④10/5

《受講者》延べ20組

- ・すくすく子育てセミナー（3地区/各5回）

【対象】親子

【時間】午前10時～午前11時30分

【講師】ミルキーねっとメンバー

七宝地区 ①6/8 ②7/13 ③9/14 ④10/31 ⑤11/30

美和地区 ①6/22 ②7/6 ③9/28 ④10/10 ⑤11/16

甚目寺地区 ①6/11 ②7/9 ③9/10 ④10/31 ⑤11/12

《受講者》延べ20組

- ・子供と一緒に絵本を（七宝地区で1回）

【対象】親

【時間】午前10時～正午

【講師】山口陽子

七宝地区 ①12/10 《受講者》15人

- ・アレルギーについて（甚目寺地区で1回）

【対象】親

【時間】午前10時～正午

【講師】山田医院 山田一恵（小児科医）

甚目寺地区 ①2/24 《受講者》19人

- ・講演会～発達障害ってなんだろう～（甚目寺地区で1回）

【対象】親

【時間】午前10時～正午

【講師】海部キャラバン隊PUZZLE

甚目寺地区 ①3/10 《受講者》30人

○家庭教育学級

急速な社会情勢の変化により、子どもたちを取り巻く家庭環境は大きく変化しつつあり、家庭教育のあり方が重要課題となっています。各小中学校において家庭教育学級を開催し、小中学校PTA関係者が一堂に会し、共に家庭教育について考える機会を提供しました。

【各小中学校委託】41事業（小学校12校、中学校5校）

○「子育てサロン」 24回（毎月3回×8ヶ月） 午前11時～午後2時

参加者 延べ532人

甚目寺公民館談話室に「子育て支援情報を提供できるスペース」、「飲食ができるスペース」、「子どもを遊ばせることができるスペース」をつくり、子どもや保護者たちが集える場を提供しました。

※参加者が子育ての知識を得ることは勿論、親同士のつながりを持つことができ、今後の子育ての問題解決の糸口となりました。

■青少年健全育成推進事業

青少年が心身ともにたくましく成長することを願い、下記の事業を実施しました。

○あま市青少年健全育成推進協議会

平成22年10月1日（金） 午後2時～ 美和公民館 実習室

○街頭啓発活動 2回

平成22年10月16日（土） 安全安心大会会場（美和文化会館）午後1時～

平成22年11月6日（土） あま市文化祭会場（市内各公民館）午前9時～

○街頭パトロール活動

平成22年11月～平成23年1月の間において、市内小中学校、PTAと協力して市内の街頭パトロールを行う。

○啓発資材の配布

「家庭の日」強調月間にあわせ、啓発資材の配布を行う。

※大人として青少年の健全育成のためにどのような事ができるかを考える契機となりました。

■人権教育推進事業

○海部地区人権教育講演会（共催：あま市小中学校人権教育研究会）

人権問題に係る正しい認識と理解を深めることを目的として、他市町村の方へも広く参加を呼びかけ、実施しました。

・日 時：平成22年8月6日（金） 午後2時～午後4時

・場 所：甚目寺公民館 大ホール

・講 師：橋田 幸子さん

橋田メモリアル・モハメドくん基金100人委員会代表

・演 題：「約束～戦場ジャーナリスト・橋田信介と見るイラク～」

・参加者：約600人（対象／市内小中学校教職員、PTA関係者、海部地区小中学校教職員 他）

※講演を通じて、多くの方に人権に対する理解が得られました。

■文化振興事業

○あま市文化祭（あま市文化協会主催）

あま市文化祭は、あま市文化協会が主体となり、あま市の補助金を活用して、市民及び文化・芸能団体に発表の機会を提供するとともに、文化・芸能に係る資質の向上を促し、市民のより豊かな生活の実現を目指し開催しました。

・作品展示、生花展示、芸能発表会、茶会

日時：平成22年11月6日(土)、7日(日) 午前10時～午後4時

会場：甚目寺公民館、美和文化会館、七宝公民館

参加者数：作品展示 文化協会35団体533名、一般参加101名

芸能発表会 文化協会50団体1,069名

一般参加11団体

・囲碁大会

日時：平成22年11月14日(日) 午前9時～午後4時

会場：七宝公民館

参加者数：文化協会3団体92名、一般参加4名

・将棋大会

日時：平成22年11月14日(日) 午前9時～午後4時

会場：美和公民館

参加者数：文化協会2団体38名、一般参加11名

※合併して初めての試みであり、各会場をつなぐ巡回バスを企画するなど、参加者にとっては発表の場、来場者にとっては文化活動に触れる機会をより多く提供できたことは文化振興の一助となりました。

■歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業

市民一人一人の文化財への理解と保護意識の普及と向上を目指し、歴史民俗資料館ほか、市内各地にて各種事業を実施しました。

○企画展

下記のとおり、美和歴史民俗資料館及び甚目寺歴史民俗資料館にて企画展を実施し多くの方が来館されました。

	企画展名	開催場所	期間	入場者数
〈1〉	ときのきねんび展	美和歴史民俗資料館	5/31～6/29	2,516名
〈2〉	浮世絵に見る戦国武将の虚像と実像展	美和歴史民俗資料館	9/12～12/14	605名
〈3〉	ミニ時計展	甚目寺歴史民俗資料館	10/15～11/30	343名

○歴史散策会&見学会

市内各地の史跡や文化財を散策することにより、あま市の歴史を知る機会を提供しました。対象：一般

	期日	コース	参加者数
〈1〉	4/18	散策 蓮華寺二十五菩薩来迎会と周辺史跡	41 名
〈2〉	5/22	散策 森ー二ツ寺ー古道	37 名
〈3〉	6/19	散策 遠島ー沖之島ー木折（協力…アートヴィレッジガイド）	40 名
〈4〉	6/25	見学会 高須街道と渡し舟 海津市歴史資料館	33 名
〈5〉	10/30	散策 甚目寺観音周辺（台風のため中止）	申込 35 名
〈6〉	11/12	見学会 企画展「大坂の陣 豊臣家の滅亡」秀吉清正記念館	22 名
〈7〉	11/27	散策 安松ー小橋方ー乙之子	15 名
〈8〉	12/20	散策 清掃散策と郷土料理の試食会	25 名
〈9〉	3/11	散策 国重文堀田家住宅と津島の町並	23 名

○エコきっず調査隊

地元の川や生物を調べることにより、あま市の水文化を知る機会を提供しました。対象：小学生

	期日	内 容	参加者数
〈1〉	7/3	田んぼの学校（宮田用土地改良区の協力）	*55 名
〈2〉	7/11	地元の川の水調べ	17 名
〈3〉	7/29	木曽川調査延期のため川越電力館へ	22 名
〈4〉	8/5	木曽川調査（国土交通省木曽川下流事務所の協力）	22 名
〈5〉	8/17	エコきっずサミット（津島児童科学館）	18 名
〈6〉	8/20	夜の昆虫観察会（環境衛生課と協力）	*45 名

*については一般参加者あり

○講演会

あま市の歴史や文化を題材にした講演会を開催し、あま市の歴史や文化への知識を深めることができました。

	期日	演題／講師	参加者数
〈1〉	10/13	「蜂須賀家政～阿波の古狸と呼ばれた男～」 講師 根津寿夫氏（徳島城博物館学芸員）	90 名
〈2〉	11/11	「豊臣秀次の実像を求めて」 講師 中川龍晃氏（瑞泉寺住職：京都市）	98 名
〈3〉	12/4	文化財講座「梵字の基礎知識」 講師 坂野元昭氏（寶泉寺住職：下萱津）	42 名
〈4〉	2/26	海部歴史講演会 協力（主催は弥富市教育委員会） 「愛知の民家と服部家」 講師 溝口正人氏（名古屋市立大学教授）	260 名
〈5〉	3/12	文化財講座「海部地域の古墳考」 講師 甚目憲一郎氏	40 名

○ 講座

下記のとおり各種講座等を開催し、多くの参加を得ました。

	期日	演題／講師	受講者数
〈1〉	6/12～ 2/26	古文書解読講座（前期 8 回・後期 8 回） 講師 藤井智鶴氏	27 名
〈2〉	12/18 12/19	しめ縄教室（甚目寺・美和の資料館で実施） 講師 竹田武夫氏	28 名

○あま市ものしり検定

- ・日 時：平成 23 年 2 月 27 日（日） 午後 1 時～午後 2 時
- ・会 場：美和文化会館・七宝焼アートヴィレッジ
- ・参加者：94 名（合格者数 74 名、不合格者数 20 名）

検定に向けて事前講習会や模擬試験を実施し多数の方が参加しました。

○第 57 回文化財防火デー・甚目寺観音消防訓練

- ・日 時：平成 23 年 1 月 26 日（水） 午前 10 時～午前 11 時
- ・参加者：海部東部消防署 22 名、市消防団 7 名、甚目寺観音自衛団 10 名
- ・その他：甚目寺小学校 4 年生 126 名が見学

○刊行物

あま市の文化財や歴史を紹介するため、下記の刊行物を発行しました。

	タイトル	内 容	備 考
〈1〉	あま市ものしり読本	あま市検定のテキスト	A4 版、60 頁 500 部
〈2〉	あま市文化財マップ	あま市の文化財を 3 地区ごとに見 開きで紹介	A4 版、8 頁 3,000 部、4 色刷り
〈3〉	古文書解読資料 「尾張八丈」	二ツ寺の横橋家文書に現存が確認 された地誌「尾張八丈第二巻」を解 読（美和古文書研究会が）した。	A5 版、50 頁 500 部

〈4〉	資料館だより ニューズレター創刊号	あま市検定報告、つまみぐい郷土史、たびくらぶ報告など	A4 版、6 頁 2,000 部
-----	----------------------	----------------------------	---------------------

※歴史・文化・伝統の学習の場を設けることにより、郷土への理解と郷土愛を育む契機となりました。また、消防訓練の実施により文化財保護意識の高揚の一助となりました。

■社会教育施設整備事業

○甚目寺公民館改修工事

開館以来 26 年が経過し、屋上防水シート等の劣化による雨漏り防止のための工事（本館）、女子トイレの改修、非常電源直流装置蓄電池の取替え等を実施し、施設整備に努めました。

事業内容 本館屋上防水等

事業費 29,883,000 円

※この改修工事を実施したことにより、利用者の利便性の向上に寄与し、雨漏り状態の改善ができました。

■スポーツ教室

市民のニーズにあった教室を開催し、継続的な運動に対するきっかけづくりとするとともに、より一層の健康増進・体力向上と心身の健全な発達をもって、明るく健康的な市民生活を提供することを目的として、各種スポーツ教室・講座事業を実施しました。

教室名	期 間	実施場所	回数	対象	参加者数	内 容
親子体操教室（前期）	5 月 25 日～ 7 月 13 日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8 回	親子	22 組	親子と一緒に鉄棒・マット運動・跳び箱等を行い、楽しく運動の基本を習得する。
親子体操教室（後期）	10 月 26 日～ 12 月 21 日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8 回	親子	25 組	
親子体操教室①	6 月 1 日～ 3 月 8 日 隔週火曜日	甚目寺 総合体育館	15 回	親子	25 組	
親子体操教室②	6 月 8 日～ 3 月 15 日 隔週火曜日 (16:00～17:00)	甚目寺 総合体育館	15 回	親子	25 組	
親子体操教室③	6 月 8 日～ 3 月 15 日 隔週火曜日 (17:00～18:00)	甚目寺 総合体育館	15 回	親子	25 組	

エアロビクス教室（前期）	6月8日～ 7月27日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	一般	31名	ストレッチを中心に ウォーキングとロー インパクトのステッ プ動作など、エアロビ クスの基礎を習得す る。
エアロビクス教室（後期）	11月2日～ 12月21日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	一般	29名	
ヨガ教室（前期）	6月11日～ 7月30日 毎週金曜日	七宝 総合体育館	8回	一般	30名	ヨガの基本的な呼吸 法と基本ポーズを習 得する。
ヨガ教室（後期）	10月29日～ 12月17日 毎週金曜日	七宝 総合体育館	8回	一般	31名	
ふれあいスポーツ ～子ども運動教室～①	10月7日～ 12月16日 毎週木曜日 (16:00～17:00)	甚目寺 総合体育館	8回	年少	10名	「運動の習熟」を主眼 に、子どもたちが運動 の日常化や身体を動か す楽しさや喜びを感 じられることを目的 とする。
ふれあいスポーツ ～子ども運動教室～②	10月7日～ 12月16日 毎週木曜日 (17:00～18:00)	甚目寺 総合体育館	8回	年少	10名	
はつらつ健康教室 ～シニア運動教室～	10月7日～ 12月16日 毎週木曜日	甚目寺 総合体育館	8回	高齢者	10名	自らの体力・健康を自 覚して、自発的な介護 予防に向けた生活を 送れることを目的と する。
健康・体力づくり教室 ～総合体育館トレーニ ング室を利用しよう～	10月16日～ 12月4日 毎週土曜日	甚目寺 総合体育館	8回	中学生 以上	10名	トレーニング室の設 備を利用しながら、器 具の使用・トレー ニング方法を習得し、 継続的な運動習慣を 身につける。
地引網体験教室	6月12日（土）	知多方面	1回	小学生	40名	大自然の中で共同作 業をすることで、協調 性や行動力を身につ けるとともに基礎体 力の向上を目指す。
キッズエアロファンク教室	7月20日～ 8月11日 毎週火水曜日 (14:00～15:00)	七宝小学校 体育館	8回	小学生	30名	ヒップホップの曲に あわせて、楽しく踊 ることでリズム感覚を 養い、連動した動作を 習得する。
子どもニュースポーツ 体験教室	7月20日～ 8月11日 毎週火水曜日 (15:30～16:30)	七宝小学校 体育館	8回	小学生	16名	子ども向け各種ニュ ースポーツを体験し て、楽しみながらスポ ーツや運動をするき っかけをつくる。

※各年齢層にあわせた教室を開催したことで、より多くの市民にスポーツや運動の機会を提供することができました。また、基礎的な教室を多く開催したことにより、スポーツ人口の裾野を広げ、市民の健康増進や体力向上に資することができました。

■スポーツ行事・大会

スポーツを通じた市民のふれあいや親睦、また、目的を持ったスポーツ活動や市民の更なる高次元の運動意欲を引き出すことにより、街の活性化とスポーツの振興を目指すことを目的として、各種体育事業を実施しました。

行事・大会名	期 日	曜日	実施場所	参加者数	内 容
市民ラジオ体操の集い	7月25日	日	七宝焼 アートヴィレッジ	484名	基本的な体操である「ラジオ体操」を、今一度、広く親しんでもらい、市民の健康と親睦を図る。
市民スポーツフェスティバル	10月10日	日	美和グラウンド	—	グラウンド不良のため、中止
市民歩け歩け会	11月28日	日	三河湖周辺	94名	豊かな自然の中をウォーキングすることで、気持ちよくリフレッシュしていただきます。
市民歩こう走ろう会	2月6日	日	七宝鷹居 グラウンド	458名	走りたい人、歩きたい人、それぞれのリズムで、運動を楽しんでいただきます。
市民綱引き大会	3月13日	日	甚目寺 総合体育館	28チーム/ 278名	チーム対抗で競い、仲間との絆や地域とのつながりを育みます。

※市民に広くスポーツに親しんでいただくことで、より一層親睦が深まり、あま市としての地域のつながりや街の活性化に資することができました。

■社会体育施設整備事業

○甚目寺総合体育館修繕工事

開館以来20年が経過し、設備等の劣化による修繕工事を行い、メインアリーナ空調冷温水発生機整備工事、給湯ボイラー整備工事、非常放送設備を始めとする防災設備工事、洋式トイレ増設工事等、施設整備に努めました。

事業内容 メインアリーナ空調冷温水発生機整備等
 総事業費 30,660,000円

※この改修工事を実施したことにより、利用者の利便性の向上に寄与することができました。

○甚目寺中学校屋外トイレ改修工事

昭和53年にナイター施設設置と同時に利用が始まって以来、改修しておらず、男・女トイレ内の全面改修、照明器具の取替え、天井等の塗装などを実施し、施設整備に努めました。

事業内容 便器（男子 小2・大1、女子2）の取替え等

総事業費 4,473,000円

※この改修工事を実施したことにより、利用者の利便性の向上に寄与することができました。

■文化会館自主事業

下記のとおり各種講座等を開催し、多くの参加を得ました。

事業名	開催日時	会場名	参加者数
「あま市」誕生記念演奏会	7月4日 14:00～16:00	大ホール	500名
親子ふれあい映画会	7月17日 10:00～12:00	大ホール	300名
クリスマスジブシージャズ コンサート	12月18日 14:00～16:00	大ホール	400名
イルミネーションフェスタ in美和 模擬店	12月18日 16:00～21:00	文化会館西側駐車場	多数
ふれあい芸能祭	2月13日 10:00～16:30	大ホール	700名
エンジョイ ガーデニング教室	4月24日 9:00～11:30	アートスペースM 1Fホール	30名
	11月20日 9:30～11:30	アートスペースM 1Fホール	34名
ウォーキング教室 美和のいいところ発見隊 ハイキング	5月9日 9:00～12:00	二ツ寺、東溝口、 花正方面	7名
	11月14日 9:00～11:30	二ツ寺、甚目寺方面	15名
エンジョイカラオケ教室	5月14日 14:00～16:00	多目的ホールC	20名
	6月11日 14:00～16:00	多目的ホールA・B	20名
	7月9日 14:00～16:00	多目的ホールA・B	20名
	9月10日 14:00～16:00	多目的ホールB・C	24名
	10月8日 14:00～16:00	多目的ホールB・C	25名

	11月12日 14:00～16:00	多目的ホールB・C	15名
知ってるようで知らない食べ物 の話	6月26日 13:30～15:00	アートスペースM	32名
手づくり紙細工教室	8月21日 13:30～15:00	多目的ホールA・B	26名
水彩画教室	10月23日 13:30～16:00	アートスペースM	33名
ウッドバーニング教室	7月31日 13:30～15:00	アートスペースM	19名
天体観測教室	11月13日 17:30～19:30	アートスペースM ふれあいの森	80名
すみれ朝市in美和	毎月第2・4土曜日 9:00～11:00	文化会館西側入口	多数

※講座を通じて、自分の趣味の充実を図り、仲間作りができました。

■図書館事業

○企画展示

下記のとおり企画展を開催しました。

事業名	実施内容	期 間	会 場
企画展示	「再会 虎どの！（2 木など）」全100余点展示	4/1～5/30	図書館内展示 ケース
	「再会 虎どの！（3 土の虎）」全100余点展示	6/1～7/31	
	動物写真家・小原 玲 氏の写真を通して地球温暖化、生物多様性問題を考える。	8/1～9/30	
	「再会 虎どの！（4 土鈴の虎）」全140点展示	10/1～11/30	
	「再会 兎ちゃん！（1 張子の兎）」全65点展示	12/1～1/31	
	「再会 兎ちゃん！（2 木の兎）」全79点展示	2/1～3/31	

※企画展を開催したことにより来館者が文化に接するよい機会となりました。

○図書館事業

下記のとおり、各種講座等を開催し、多くの参加を得ました。

事業名	実施内容	回数	延べ参加者	会場
ちくちく手作りの会	ブックトーク「ねこのほん」、ねこの絵本の読み聞かせ、にぎにぎねこちゃんの制作等	3回	66名	美和文化会館会議室
講演会	演題「美和の神様」（美和の歴史散策あれこれ）	1回	48名	美和文化会館多目的ホール

	演題「流氷の伝言ーアザラシの赤ちゃん と地球温暖化」	1 回	72名	美和文化会館多目的 ホールB・C
図書館探検	図書館の仕事や活用方法等を体験して、 図書館を身近な存在にする。	2 回	12名	美和文化会館会議室
絵手紙講座	絵手紙の心得の話、書き方の練習、野菜 を手本に作成	1 回	20名	美和文化会館多目的 ホールA
おはなしボラ ンティア養成 講座	内容 「おはなし会のあり方とボランティア について」 「小さい子の読み聞かせについて」 「紙芝居を楽しみましょう」	3 回	134名	美和文化会館多目的 ホールB・C
ブックリサイ クル	図書の有効活用を図るために、一般家庭 で不要になった図書や当館所蔵の廃棄 した雑誌をボランティアの協力を得て 無償で提供。9割ほどが再利用される。 提供冊数 約2,000冊	1 回	250名	美和文化会館ロビー
手づくり本講 座	連続2回講座、初心者を対象に製本の仕 組みを学びながら本を手づくりする。	2 回	15名	美和文化会館多目的 ホールA
おはなしボラ ンティア研修 会	ボランティア養成講座参加者の希望者 に対して読み方の練習等、実践の研修会	3 回	6名	美和文化会館会議室・ おはなしコーナー
もこもこのお はなし会	絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居 等	3 8 回	951名	おはなしコーナー
おはなしをき く会	「語りの会 おはなしペロリ」による物 語や昔話等を聞く会。	2 回	34名	おはなしコーナー
お楽しみおは なし会	絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた 等	8 回	88名	おはなしコーナー
出張読み聞か せ会(乳児・幼 児対象)	絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた	1 2 回	174組	美和子育て支援セン ター
出張読み聞か せ会(乳児・幼 児対象)	絵本の読み聞かせ、手遊び等	1 2 回	98組	美和児童館(集いの広 場)
出張読み聞か せ会	絵本の読み聞かせ、手遊び等	1 0 回	篠田保育 園 児	篠田保育園
出張読み聞か せ会	絵本の読み聞かせ、ペープサート、わら べうた等	1 2 回	正則保育 園 児	正則保育園
出張読み聞か せ会 乳児健 診	3・4ヶ月健診の親子に対して読み聞かせ とわらべうたを行う。読み聞かせの重要 性の説明や図書館等の利用案内	1 2 回	191組	美和保健センター
出張読み聞か せ会 マタニ ティー教室	母親向けの育児のための絵本の読み聞 かせ、わらべうたと育児における良書の 読み聞かせの効用の説明	4 回	19名	美和保健センター

※各種講座・読み聞かせ等を通じて、親子のふれあいを深めることができました。

(3) 学校給食センター

■学校給食事業

学校給食センター課では、様々な機関と連携を図り、食育を推進しました。

○学校給食センター課主催事業 親子料理教室“Let’s！ 親子クッキング！”

給食献立を親子で調理することにより、学校給食や食に対する理解を深めます。また、親子で調理の楽しみを味わうことにより、日頃の食生活を豊かなものにします。対象を、小学生の親子とし、平成 22 年 7 月 26 日、美和公民館にて開催しました。当日は、12 組の参加がありました。

※児童は、料理を作ることで、日頃の食事がどのように作られているかを体感することができました。児童に、家族の一員としての意識を向上させることができました。

○食指導の実施

児童生徒の食への興味を高めさせることと、食に関する知識の向上を目指し、全小中学校と連携し実施しました。学校で、食指導に関する授業を行い、そして、給食時間には給食を教材として食に関する指導をしました。

※日頃から食べている給食に携わる栄養教諭・学校栄養職員が直接話すことにより、児童生徒の食への興味を高めさせることができました。また、各学級を巡回することにより、児童生徒が食べている状況を把握することができ、献立作成時に取り入れることができました。

○学校における健康教育への参加

各学校の健康教育の取組に参加しました。

学校保健委員会	七宝小、秋竹小、七宝北中、美和小、正則小、美和東小 甚目寺南小、甚目寺中
給食試食会	七宝小、宝小、伊福小、秋竹小、七宝中、美和小、正則小、 篠田小、美和東小、美和中、甚目寺小、甚目寺南小、甚目 寺東小、甚目寺西小、甚目寺中
家庭教育学級	甚目寺南小、甚目寺東小、甚目寺中

※栄養教諭・学校栄養職員が関わることで、食に関する話を聞く機会が増えたので、児童生徒・保護者・教職員の食への意識を高めることができました。

○学校給食センター活動状況

開催日	行事名
4月5日(月)	5月分献立委員会
4月15日(木)、16日(金)	5月分物資選定委員会
4月27日(火)	6月分献立委員会
5月17日(月)、18日(火)	6月分物資選定委員会
6月1日(火)	7月分献立委員会
6月9日(水)、10日(木)	7月分物資選定委員会
6月29日(火)	運営委員会
7月6日(火)	9月分献立委員会
8月2日(月)、3日(火)	9月・2学期分物資選定委員会
9月2日(木)	10月分献立委員会
9月14日(火)、15日(水)	10月分物資選定委員会
10月1日(金)	11月分献立委員会
10月13日(水)、14日(木)	11月分物資選定委員会
11月2日(火)	12月分献立委員会
11月16日(火)、17日(水)	12月分物資選定委員会
11月30日(火)	1月分献立委員会
12月13日(月)、14日(火)	1月・3学期分物資選定委員会
12月20日(木)	2月分献立委員会
1月12日(水)、13日(木)	2月分物資選定委員会
2月1日(火)	3月分献立委員会
2月14日(月)、15日(火)	3月分物資選定委員会
2月23日(水)	運営委員会
3月1日(火)	4月分献立委員会
3月14日(月)、15日(火)	4月・1学期分物資選定委員会

6. 学識経験者による意見

学識経験者名	吉 川 朝 博（甚目寺小学校学校評議員・人権擁護委員）
--------	-----------------------------

3町合併し、新市としてスタートした平成22年度、未曾有の大震災を体験しての疾風怒濤の一年でしたが、8万市民の信託と要請に応えるべく、鋭意ご尽力いただき、大変ご苦労さまでした。翻って一考すると、市教育委員会の今年度の職務遂行は、旧来の3倍の仕事量となり大変さの増大そのものですが、それにも増して、重要なのは、3倍の期待・要望そして、3倍の視点に見合う事業設計が求められるということである。果して、それに応えられる職務遂行であったか、長い経済不況、財政逼迫の中、大変厳しい状況下での検証・検索となるが、期待に見合う新市実現のため、避けては通れない。

そんな状況の中、今次点検・検証に当たり、今日的状况に鑑みて、次の3点を主たる視点として考察を試みることにした。1点目は、ゆとりからの脱却を目指す新学習指導要領の完全実施に備える事業展開になっていたか。2点目は、いじめ、少子高齢、男女共同参画社会の実現等々、今日的課題解決に向けての事業推進になっていたか。3点目は、最も囑望される合併を着実に進行・遂行する事業実践になっていたか。

1点目については、既にこれまでの移行措置期間に着実に進められてきたことで、万全の体制づくりがなされてきたことと理解しているが、いよいよその最終年として総仕上げができたかということである。市全体として、ALTの採用や教員の外国語研修・授業力向上に向けた教員の共同研修の実施、TT指導の充実、特別支援学級補助員事業、さらには、ICT支援員事業の実施などは、年々の積み重ねの中で、確実な基盤整備になったと考える。また、市内各校の個別的・意欲的な教育実践は、必ずや新指導要領実施に大きな効用をもたらすと確信できる。しかし望まれるのは、この個別の教育実践が、市内全校に波及し、同様な効用が普及浸透することである。それには、各校幹部職員の積極的な還流活動の実践に期待するものである。教育はまさに人なり、自覚的・自主的な対応を切に望むものである。よく教育（エデュケーション）はその子の持てる力を引き出すことと言われるが、一説には、「押し上げる」ことが大切だと言われる。本市の教職員全員がそのことを理解し、本市の子どもたちのため持てる力を最大限発揮されることを強く望んでいる。平成23年度の今年は、そのスタートの年なのです。

2点目については、確かな将来に向けて解決しなくてはならない喫緊の課題への対応である。このことは、全事業（教育・生涯学習・学校給食）が、日常的に考慮して、各種事業に着手しているところと想定するところだが、果して、実践できているか。常に検証しフィードバックする精神を含有しての事業実践であってほしいと願うものである。

教育での適応指導教室事業、生涯学習での子育てサロンなどの家庭教育推進事業・お話ボランティア養成などの図書館事業、健康・体力づくり教室などのスポーツ教室事業、学校給食での栄養教諭・栄養職員による食に関する指導などは、よくその趣旨に照らした事業実践として理解でき、その結果が期待されるところである。

今日的課題挑戦に向けて大切な視点は、その解決に当たって、常に、確かな展望と長

期にわたっての計画的で着実なロードマップを描いての取り組みであるということである。応募者や参加者が少ないといって、計画した事業を安易に中断したり、募集人数を少なくしたりすることは、負の思考形態である。市の各種事業の実践の実態が、市の興隆と発展、活性化の指標となると信じて、一層のPRの充実と活動の深化を望むものである。

3点目は、合併のスタート一年目として、果して快調な一歩となったかという視点である。合併に際して、「小異を捨て、大同につく・・・」を大義名分にしての合併だが、果して理想の第一歩となったと言えるか。互いに3町がこれまでもつ長い歴史と伝統を止揚して新しい時代の創設をということだが、決して安易に実現するものとは思えない。そこには、真の協力・協調、痛みを分かち合う等、多くの課題が山積している。しかし、それを超越してこそ、理想の新市があると言える。ともあれ、今年度平成22年度は、その第一歩としてスタートできたか。

その点で、学校教育で、小中学校適正規模等検討委員会の実施、生涯学習では、市全体での文化展や成人式の実施、さらには、雨天で中止となったが市民スポーツフェスティバルの実施等、前進的な一歩として高く評価されるところである。しかしながら、その事例は多いとはいえない。各事業レベルで事情があり一律とは言えないが、合併の趣旨に見合う事業形態の早期の実現に向け関係者の努力を今後とも強く望むものである。

合併は決してこれまでの歴史と伝統が途絶し、消滅するものではない、これまでに個々に持つ歴史と伝統が、止揚され基盤となって新たな歴史と伝統が築かれるのである。明治の時代に新渡部稲造は、新日本建設に向け、「旧来の歴史が基盤となって、新道徳が新日本の進路を導かんがため不死鳥（フェニックス）のごとくに起こる」と予言した。それが、まさしく「人・歴史・自然が綾なすセーフティ共創都市“あま”」である。

市教育委員会の一丸となった力強いリーダーシップを強く望むものである